

ホームページでの点検結果報告書の公開について

ホーム > くらし・安全・環境 > 生活と自然環境の保全と改善 > 開発規制・生活環境の保全 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題 (点検結果報告書) > 平成30年度「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 (点検結果報告書)

印刷用ページを表示 掲載日：2020年2月7日

平成30年度「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 (点検結果報告書)

「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」-水源地環境保全税による特別対策事業の点検結果報告書- (第3期・平成30年度版) が、令和●年●月●日に水源地環境保全・再生かながわ県民会議座長から、県に提出されました。

報告者

水源地環境保全・再生かながわ県民会議 座長 鈴木 雅一 氏 (東京大学 名誉教授)

報告書

概要版

[水源地環境保全税による特別対策事業の点検結果報告書 \(平成30年度概要版\) \(PDF: 1,356KB\)](#)

[このページの先頭へ戻る](#)

実績版

[一括ダウンロード \(PDF: 7,846KB\)](#)

[表紙・目次 \(PDF: 127KB\)](#)

I はじめに (PDF: 1,715KB)

- はじめに
- 第3期かながわ水源地環境保全・再生実行5か年計画の概要

II 11の特別対策事業の点検結果総括 (PDF: 582KB)

- 11の特別対策事業の総括 (まとめ)
- 事業費実績及び進捗状況一覧

III 各事業の概要と点検結果 (PDF: 4,533KB)

- 水源の森林づくり事業の推進
- 丹沢大山の保全・再生対策
- 土壌保全対策の推進
- 間伐材の搬出促進
- 地域水源林整備の支援
- 河川・水路における自然浄化対策の推進
- 地下水保全対策の推進
- 生活排水処理施設の整備促進
- 相模川水系上流域対策の推進
- 水環境干渉タリリングの実施
- 県民参加による水源地環境保全・再生のための仕組み

IV あとがき (PDF: 334KB)

- あとがき
- 平成30年度施策調査専門委員会の検討内容

[このページの先頭へ戻る](#)

資料編

[事業モニタリング調査実施状況 \(PDF: 209KB\)](#)

[県民フォーラム意見について \(PDF: 850KB\)](#)

[市町村別事業実績一覧 \(市町村事業\) \(PDF: 64KB\)](#)

[水源地環境保全・再生かながわ県民会議第6期委員名簿](#)

[総合的な評価 \(中間評価\) 報告書 \(平成27年8月\)](#)

資料ア

資料イ

資料ウ

資料エ

資料オ

[このページの先頭へ戻る](#)

[過去の点検結果報告書 >](#)

[かながわの水源地環境の保全・再生をめざして >](#)

[このページの先頭へ戻る](#)

[いいね](#) [ツイート](#)

このページに関するお問い合わせ先

環境農政局 緑政部水源地環境保全課
環境農政局緑政部水源地環境保全課へのお問い合わせフォーム
水源地企画グループ
電話：045-210-4358

このページの所管所属は環境農政局 緑政部水源地環境保全課です。



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、バナーのリンク先から無料ダウンロードしてください。

[かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題 \(点検結果報告書\)](#)

階層リンク

[平成29年度「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成19年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成25年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成27年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[第2期・平成28年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成26年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成20年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成24年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成21年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成23年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

[平成22年度実績版「かながわ水源地環境保全・再生の取組の現状と課題」 \(点検結果報告書\)](#)

県の重点施策

ME-BYO 未病の改善

ヘルスケア・ニューフロンティア

ROBOT TOWN SAGAMI さがみロボット産業特区

県高地域活性化プロジェクト

かながわスマートエネルギー計画 KANAGAWA SMART ENERGY

東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

MAGCUL マケガル MAGNET CULTURE PROJECT KANAGAWA

とよみ未来

SDGs 未来都市 神奈川県 SDGs FutureCity Kanagawa

事業モニタリング調査実施状況

1 森林整備による事業効果の検証**(1) 関連事業**

水源の森林づくり事業、間伐材の搬出促進、地域水源林整備事業

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

人工林における森林整備後の広葉樹の混交状況と下層植生の生育状況を継続的にモニタリングすることにより、森林整備による中期的な質的效果を検証する。

(4) 調査項目

- ① 林分構造(平成 29 年度～)
- ② 下層植生：植被率の変化（平成 19 年度～）
- ③ 光環境：開空度の変化率

(5) 調査方法等

- ・人工林の森林整備実施箇所 21 地点において針広混交林の誘導状況を把握するために、植栽木に加えて樹高 1.5m以上の広葉樹の樹種、直径、樹高を 5 年毎に調査
- ・1.5m以下の下層植生についても植被率や出現種の被度を記録
- ・補足調査として、センサーカメラによるシカの生息状況及び保護柵内外の変化についても調査。

(6) これまでの検証結果等

- ・H29 と H30 に調査した 9 地点の林分構造は、地点により大きくばらついた。すなわちスギ、ヒノキの植栽木の密度は 350～900 本/ha、高木性広葉樹の密度が 4～1280 本/ha であった。広葉樹はシロダモやアラカシが多かった。
- ・2 時点で下層植生を比較すると、シカの多寡にかかわらず植被率は増加したが、初回の整備から時間が経過すると頭打ちになった。

2 土壌保全対策による事業効果の検証①**(1) 関連事業**

丹沢大山の保全再生（土壌保全対策事業）

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

- ・土壌流出防止対策を講じた箇所等において土砂の流出量や植生の回復状況、リターの体積量等を継続的にモニタリングすることにより、土壌流出対策の中期的な質的效果を検証する。

- ・様々な土壌保全対策工の効果を検証し、対策工の改良や施行地の立地や設置目的に応じた適切な対策工の選定に資する。

(4) 調査項目

平成 17～18 年度に土壌流出防止対策を実施した箇所、土砂侵食量測定施設（侵食土砂の捕捉施設）を 31 カ所設置し、以下の項目を調査。

- ① 土壌侵食量
- ② 林床植生
- ③ 林床合計被覆率：植生及びリターの合計被覆率
- ④ リター堆積量：乾重量ベースの現存量

(5) 調査方法等

- ・毎年度継続して調査
- ・効果を検証するため、無施工の対照区を設置

(6) これまでの検証結果等

- ・対策工施工箇所では対照区の無施工地に比べ、施工 1 年目から全般的に土壌侵食量が軽減。
- ・林床合計被覆率は施工後に増加して 3～4 年で 95～100% となり、それ以降維持された。
- ・蓄積データの解析結果から、林床合計被覆率と土壌侵食量が対応関係にあることがわかり、林床合計被覆率から雨量 1mm あたりの土壌侵食量を推定することが可能となった。
- ・短～中期の検証により各対策工の効果と特色が明らかになり、現場条件や土壌侵食や植生回復など優先する整備目的により、工種の使い分けが可能となった。

3 土壌保全対策による事業効果の検証②

(1) 関連事業

土壌保全対策の推進(中高標高域の自然林の土壌保全対策の実施)

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

水源保全上重要な丹沢大山において、土壌侵食が深刻化している地域において施工された土壌保全事業の効果を、植生調査等を行うことで検証する。

(4) 調査項目

6 地区(堂平地区、蛭ヶ岳地区、地蔵平地区、石棚山地区、熊笹ノ峰地区、表尾根地区)52 地点で、以下の項目を調査。

- ① 植生調査
- ② 光環境調査
- ③ 林床合計被覆率
- ④ 定点写真撮影

⑤ 金網筋工の侵食堆積深等測定

⑥ 構造階段の植生調査等

(5) 調査方法等

毎年度継続して調査

(6) これまでの検証結果等

- ・植生保護柵内外で比較すると、多くの地点、柵内の確認種数、林床植被率、植生高が高い傾向が見られた。
- ・林床合計被覆率は多くの地点で100%を示したが、柵外では、70%~80%程度の地点も見られた。
- ・金網筋工に吸出し防止剤を施工したほうが、堆積深高く、侵食深も抑えられる傾向がみられる。
- ・構造階段の植生調査では、調査枠と比較し、構造階段の隙間から確認された種数は少ない傾向が見られたが、環境省 RL 及び神奈川県 RDB で絶滅危惧Ⅱ類に分類される種が確認される等、構造階段にも植生保護柵のような効果がある可能性が示唆された。
- ・植生保護柵と金網筋工について、対策が実施された年代順に結果を整理し、経年変化を比較した結果、早い段階で対策を実施したほうが、確認種数は増える傾向が見られ、早期の対策実施が効果的である可能性が示唆された。

4 ブナ林等の再生の事業効果の検証

(1) 関連事業

中高標高域ニホンジカ管理捕獲等事業、高標高域自然林土壌保全対策事業

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

- ・衰退要因とされるオゾン等の大気・気象、ブナハバチの発生状況、ブナ林衰退の進行状況等の広域モニタリングを継続。データを集積してブナ林の健全性を評価し、リスクマップを作成することで事業計画の見直しを行う。
- ・対策を講じた箇所において、ギャップの閉鎖に必要な更新木の増加・成長や下層植生の回復状況を把握する。
- ・併せて、植生回復と土壌環境の改善によるブナハバチ繭密度の減少、オゾンの流入量の減少等、期待される事象変化を検証する。

(4) 調査項目とその内容

<衰退要因及び衰退状況モニタリング>

- ①大気・気象観測：高標高4地点でのオゾン濃度、雨量、風向風速、気温、地温、日照等の常時観測
- ②ブナハバチ：成虫捕獲による発生調査、繭密度調査ブナ食害による健全度調査

<事業効果モニタリング>

- ①天然更新：ギャップの大きさの異なる7地点で高木性樹種の稚幼樹の樹種名、樹高、密度

- ②人工造林（植栽）：7地点のうちの3地点で生残と樹高
- ③林床植生：全体の植被率、出現種ごとの被度、群度、植生とリターを合わせた被覆率
- ④光環境：開空度

(5) これまでの検証結果等

＜衰退要因及び衰退状況モニタリング＞

- ・ギャップの大きさと天然更新のしやすさについて、開空度から関係性を導き出すことができた。
- ・天然更新等の試験結果や、大気汚染(オゾン)、水ストレス、ブナハバチの個別影響や複合作用を裏付ける知見が集積し、衰退機構の解明が進められ、それを踏まえた再生技術開発を行った。
- ・各種モニタリングデータの解析によりブナ林の衰退リスク評価を行い、事業を支援するリスクマップを作成した。

＜事業効果モニタリング＞

- ・天然更新では、ギャップの大きさにより更新樹種が異なり、大ギャップではニシキウツギやマユミなどの小高木種が優占して、小ギャップではイヌシデやカエデ類の高木種が優占しており、いずれも植生保護柵内で樹高成長していた。
- ・植栽試験では、ほとんどの樹種の生存率は5年経過次で70%を超えており、樹高成長は緩やかであった。

※ これらの検証結果を踏まえた再生の方針は、「丹沢ブナ林再生指針」(H29.6)に掲載

5 中高標高域におけるシカ管理の事業効果と植生の回復状況の検証

(1) 関連事業

丹沢大山の保全再生（中標高高域におけるシカ管理の推進）

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

シカの生息密度調査、生息数推定、植生の回復状況等のモニタリングを行い、シカ個体数の低減状況と下層植生の回復状況を検証する。

(4) 調査項目、方法

シカ管理捕獲（県猟友会・レゾジャー）の効果検証を行うために、糞塊法、区画法等の委託調査（野生動物コンサル）を実施し、このデータに基づき階層ベイズ法によるシカの個体数の推計とその動向の把握を行う。また、これによる下層植生の回復状況調査を行う。

以下は、調査内容。

- ① 糞塊法（糞塊数のルート調査）
- ② 区画法（区域を設定した目視調査）
- ③ ベイズ推計（上記①、②等のデータによる個体群の数推移シミュレーション）
- ④ 植生定点調査（被度、種数等を設置した植生保護柵内外で比較）

(5) これまでの検証結果等

- ① 糞塊法：計画対象区域のシカ生息状況を広域に比較するのに適しており、2番事業のシカ捕獲地で、シカ減少傾向が確認されている。
- ② 区画法：主なシカ生息地での目視調査であり、2番事業のシカ捕獲地で、シカ減少傾向が確認されている。
- ③ ベイズ推計：2番事業のシカ捕獲対象地としている丹沢の中高標高域では、継続したシカ個体群の減少傾向が確認されている。
- ④ 植生定点調査：H28年度までの過去5年間の比較では、55地点の4割で植被率が増加した。一方、56地点の柵内外の比較では、7割の地点で植被率は柵内で10%以上高かった。

6 溪畔林整備による事業効果の検証

(1) 関連事業

溪畔林整備事業

(2) 所管

自然環境保全センター

(3) 調査のねらい

- ・ 溪畔林整備後の下層植生の生育状況等を継続的にモニタリングすることにより、溪畔林整備事業による初・中期の整備効果を検証する。
- ・ 事業の検証結果に基づき初期の整備技術を確立させ、私有林での溪畔林整備に資する。

(4) 調査項目

- ① 林分構造：樹高 1.5m 以上の樹種、胸高直径、密度、樹高(階層)、渓流域のかく乱の状況
- ② 林床植生：全体植被率、出現種毎の被度・群度
- ③ 更新木：天然更新木の樹種・樹高、植栽木
- ④ 光環境：開空度の変化率

(5) 調査方法等

溪畔林整備を行う森林毎に調査区を設定し、事前調査及び施工後、3～5年毎に調査を実施。

(6) これまでの検証結果等

- ・ 定性間伐と植生保護柵を組み合わせることで、林床植生の回復効果が高まる傾向が確認された。
- ・ 平成19年度以降、2期10年間、溪畔林のモデル林を整備し効果を検証してきた結果、溪畔林の初期の整備手法が確立し、「溪畔林の手引き」としてとりまとめた。

7 河川・水路の自然浄化対策による事業効果の検証

(1) 関連事業

河川・水路の自然浄化対策事業

(2) 所管

水源環境保全課

(3) 調査のねらい

整備を実施した河川・水路において水質や動植物の状況を定期的にモニタリングすることにより、河川・水路整備による中期的な質的効果を検証する。

(4) 調査項目

- ①水質：pH, BOD, SS, DO 等
- ②動植物：各種類の動植物の生息状況

(5) 調査方法等

- ・整備を実施した河川・水路において、継続して調査(整備後2年間は必須)
- ・水質については整備箇所の上流で調査

(6) これまでの検証結果等

- ①水質については主に生物化学的酸素必要量(BOD)で効果検証を行っており、整備後も概ねA類型相当の値を保っている。
- ②動植物については、調査を実施している一部の施工地で整備前と比較して種類の増加、生息数の増加がみられている。

【河川・水路等の整備におけるモニタリング調査結果】

- ・工事後の水質調査^{※1}は、次の38箇所を実施した。
- ・BODについて、工事箇所下流の工事前後を比較し、工事後に低下した箇所は19箇所、上昇した箇所は14箇所、変化がなかった箇所は3箇所、工事後の値は概ね河川の環境基準A類型(2.0mg/L)相当の数値であった。

ア 生態系に配慮した河川・水路等の整備

	市町村	事業箇所	工事箇所下流の水質(BOD)		年度		変化 (a)-(b)
			工事前(a)	工事後(b)	工事前	工事後	
1	小田原市	鬼柳排水路	1.0	0.9	H19	H28	0.1
2	小田原市	桑原排水路	0.9	0.7	H19	H28	0.2
3	小田原市	栢山排水路	2.0	2.3	H20	H28	△0.3
4	小田原市	牛島排水路	1.0	1.5	H26	H30	△0.5
5	小田原市	寺下排水路	1.1	1.6	H26	H30	△0.5
6	相模原市	姥川①	3.1	1.1	H19	H30	2.0
7	相模原市	姥川②	1.6	2.3	H24	H28	△0.7
8	相模原市	八瀬川①	1.5	0.8	H22	H30	0.7
9	相模原市	八瀬川②	0.9	0.7	H24	H28	0.2
10	相模原市	道保川①	0.7	0.7	H20	H30	0.0
11	相模原市	道保川②	0.5	1.2	H24	H28	△0.7
12	厚木市	恩曾川①	0.9	0.9	H20	H28	0.0

13	厚木市	恩曾川②	確認中	0.7	H24	H30	確認中
14	厚木市	東谷戸川	1.4	0.7	H20	H28	0.7
15	厚木市	善明川①	1.8	0.9	H21	H28	0.9
16	厚木市	善明川②	0.9	1.2	H26	H28	△0.3
17	厚木市	善明川③	0.5	0.6	H26	H30	△0.1
18	伊勢原市	日向用水路	1.1	0.4	H20	H28	0.7
19	伊勢原市	藤野用水路	2.2	0.9	H24	H30	1.3
20	南足柄市	泉川	0.5	0.7	H20	H28	△0.2
21	南足柄市	神崎水路	1.8	1.7	H21	H28	0.1
22	南足柄市	弘西寺堰水路	14※ ²	0.9	H22	H29	13.1
23	大井町	農業用水路	0.5	0.5	H21	H28	0.0
24	山北町	日向用水路	0.4	0.9	H21	H28	△0.5
25	山北町	川村用水路	確認中	0.6	H24	H30	確認中
26	開成町	宮ノ台土掘田水路	4.0	0.8	H20	H28	3.2

イ 河川・水路等における直接浄化対策

	市町村	事業箇所	工事箇所下流の水質(BOD)		年度		変化 (a)-(b)
			工事前 (a)	工事後 (b)	工事前	工事後	
1	相模原市	姥川②※ ³	1.6	2.3	H24	H28	△0.7
2	相模原市	八瀬川②※ ³	0.9	0.7	H24	H28	0.2
3	相模原市	道保川②※ ³	0.5	1.2	H24	H28	△0.7
4	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工)①	3.5	1.4	H19	H28	2.1
5	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工)②	1.1	1.0	H21	H28	0.1
6	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工)③	1.0	1.1	H21	H28	△0.1
7	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工)④	1.0	1.4	H21	H28	△0.4
8	厚木市	善明川(粗朶沈床工)	1.7	1.0	H21	H28	0.7
9	厚木市	山際川(浄化ブロック設置工)	2.7	4.0	H20	H28	△1.3
10	伊勢原市	藤野用水路※ ³	2.2	0.9	H24	H28	1.3
11	開成町	用水路(ひも状接触材設置工)②	9.0	0.7	H19	H28	8.3
12	開成町	上島水路(水生植物の植栽工)	2.5	0.6	H19	H28	1.9

※1 環境基本法第16条に規定される環境基準において、測定回数は「原則として月1回以上」としている(年間12回以上)。一方、本件については、工事期間中等水質が安定しない時期があるため、測定回数を「整備計画の策定に必要な期間内に2回/日を原則月2回程度実施する」としている(年間4回程度)。このため、季節変動が考慮できず、かつ測定回数が少ないため、測定誤差が大きい。

※2 弘西寺堰水路の水質調査結果は、一時的な汚水等の流入等が原因による突発的な数値と考えられた。

※3 河川・水路における直接浄化対策は、効果が高い自然石等による礫間浄化を推奨するため、第2期から生態系に配慮した河川・水路の整備と併せて行うこととしており、生態系に配慮した河川・水路の整備の実施内容を再掲した。

【整備手法等を追加した評価結果】

・工事後の評価は、次の 34 箇所で実施した。なお、評価については、平成 26 年度より「河川水路事業評価シート」を使用し、①水質・動植物調査、②整備手法、③水環境の維持について、それぞれ評価している。[満点：100 点 (①20 点、②60 点、③20 点)]

(評価シートについては、県水源環境保全課ホームページに掲載

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f7006/p23439.html>)

・評価結果について、工事前後を比較し、すべての箇所で評価点が向上した。また、生態系に配慮した河川・水路等の整備は工事前後で評価点が平均で約 26 点向上し、直接浄化対策は工事前後で評価点が平均で約 19 点向上した。

ア 生態系に配慮した河川・水路等の整備

	市町村	事業箇所	工事箇所の評価点 (①水質・動植物 ②整備手法 ③水環境の維持)		年度		変化 (b)- (a)
			工事前(a)	工事後(b)	工事前	工事後	
1	小田原市	鬼柳排水路	62(①14点②39点③9点)	65(①14点②39点③12点)	H19	H28	3
2	小田原市	桑原排水路	37(①19点②12点③6点)	63(①23点②27点③13点)	H19	H28	26
3	小田原市	栢山排水路	34(①15点②16点③3点)	46(①19点②23点③4点)	H20	H28	12
4	小田原市	牛島排水路	36(①17点②16点③3点)	46(①17点②21点③8点)	H26	H30	10
5	小田原市	寺下排水路	36(①17点②16点③3点)	46(①17点②21点③8点)	H26	H30	10
6	相模原市	姥川①	43(①21点②17点③5点)	77(①26点②40点③11点)	H19	H30	34
7	相模原市	姥川②	37(①15点②17点③5点)	57(①17点②34点③6点)	H24	H28	20
8	相模原市	八瀬川①	50(①28点②18点③4点)	76(①28点②39点③9点)	H22	H30	26
9	相模原市	八瀬川②	41(①19点②18点③4点)	63(①21点②36点③6点)	H24	H28	22
10	相模原市	道保川①	55(①26点②17点③12点)	88(①30点②46点③12点)	H20	H30	33
11	相模原市	道保川②	47(①17点②18点③12点)	74(①21点②41点③12点)	H24	H28	27
12	厚木市	恩曾川①	35(①16点②17点③2点)	59(①27点②27点③5点)	H20	H28	24
13	厚木市	恩曾川②	41(①16点②24点③1点)	56(①27点②28点③1点)	H24	H30	15
14	厚木市	東谷戸川	13(①18点②-5点③0点)	76(①27点②41点③8点)	H20	H28	63
15	厚木市	善明川①	21(①14点②8点③-1点)	88(①27点②50点③11点)	H21	H28	67
16	厚木市	善明川②	17(①14点②3点③0点)	51(①25点②26点③0点)	H26	H28	34
17	厚木市	善明川③	19(①16点②4点③-1点)	47(①25点②23点③-1点)	H26	H28	28
18	伊勢原市	日向用水路	61(①20点②27点③14点)	81(①22点②42点③17点)	H20	H28	20
19	伊勢原市	藤野用水路	44(①20点②17点③7点)	67(①14点②43点③10点)	H24	H30	23
20	南足柄市	泉川	36(①18点②18点③0点)	62(①23点②35点③4点)	H20	H28	26
21	南足柄市	神崎水路	29(①16点②15点③-2点)	50(①23点②23点③4点)	H21	H28	21
22	南足柄市	弘西寺堰水路	40(①11点②23点③6点)	52(①19点②25点③8点)	H22	H28	12
23	大井町	農業用水路	20(①18点②2点③0点)	74(①23点②42点③9点)	H21	H28	54
24	山北町	日向用水路	37(①21点②13点③3点)	44(①21点②17点③6点)	H21	H28	7

25	山北町	川村用水路	33(①14点②18点③1点)	74(①18点②47点③9点)	H24	H30	41
26	開成町	宮ノ台土掘田水路	26(①10点②14点③2点)	43(①22点②17点③4点)	H20	H28	17

イ 河川・水路等における直接浄化対策

	市町村	事業箇所	工事箇所の評価点 (①水質・動植物 ②整備手法 ③水環境の維持)		年度		変化 (b)- (a)
			工事前(a)	工事後(b)	工事前	工事後	
1	相模原市	姥川②*	40(①15点②17点③8点)	56(①14点②34点③8点)	H19	H28	16
2	相模原市	八瀬川②*	40(①19点②17点③4点)	63(①21点②36点③6点)	H24	H28	23
3	相模原市	道保川②*	47(①17点②18点③12点)	74(①21点②41点③12点)	H24	H28	27
4	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工) ①	51(①11点②35点③5点)	68(①25点②40点③3点)	H19	H28	17
5	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工) ②	10(①18点②-6点③-2点)	21(①25点②-2点③-2点)	H21	H28	11
6	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工) ③	12(①18点②-4点③-2点)	27(①25点②4点③-2点)	H21	H28	15
7	厚木市	恩曾川(浄化ブロック設置工) ④	13(①18点②-4点③-1点)	23(①23点②-1点③-1点)	H21	H28	10
8	厚木市	善明川(粗朶沈床工)	21(①12点②10点③-1点)	63(①25点②32点③6点)	H21	H28	42
9	厚木市	山際川(浄化ブロック設置工)	9(①14点②-4点③-1点)	19(①21点②-1点③-1点)	H20	H28	10
10	伊勢原市	藤野用水路 *	44(①20点②17点③7点)	75(①22点②43点③10点)	H24	H28	31
11	開成町	用水路(ひも状接触材設置工) ②	30(①15点②16点③-1点)	44(①22点②21点③1点)	H19	H28	14
12	開成町	上島水路(水生植物の植栽工)	38(①18点②16点③4点)	48(①20点②21点③7点)	H19	H28	10

※ 河川・水路における直接浄化対策は、効果が高い自然石等による礫間浄化を推奨するため、第2期から生体系に配慮した河川・水路の整備と併せて行うこととしており、生態系に配慮した河川・水路の整備の実施内容を再掲した。

8 地下水保全対策による事業効果の検証

(1) 関連事業

地下水保全対策事業

(2) 所管

水源環境保全課

(3) 調査のねらい

<地下水汚染対策のモニタリング>

秦野市において、浄化装置を設置して地下水に含まれている有機塩素系化学物質の浄化を行っているため、その中期的な質的效果を検証する。

<地下水モニタリング(事業)>

地下水質、地下水位のモニタリングを行い、地下水を水道水源として利用している地域の地下水の状況を監視することで、良質で安定的な地下水の確保に資する。

(4) 調査項目、方法

<地下水汚染対策のモニタリング>

調査項目：有機塩素系化学物質

調査方法等：毎年度継続して調査

<地下水モニタリング（事業）>

調査項目：地下水位、地下水質

調査方法：毎年度継続して調査

(5) これまでの検証結果等

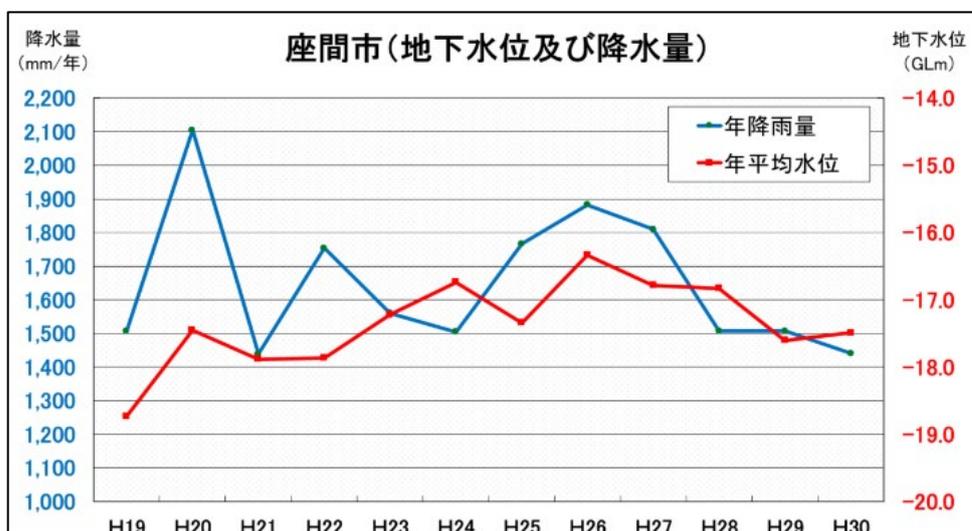
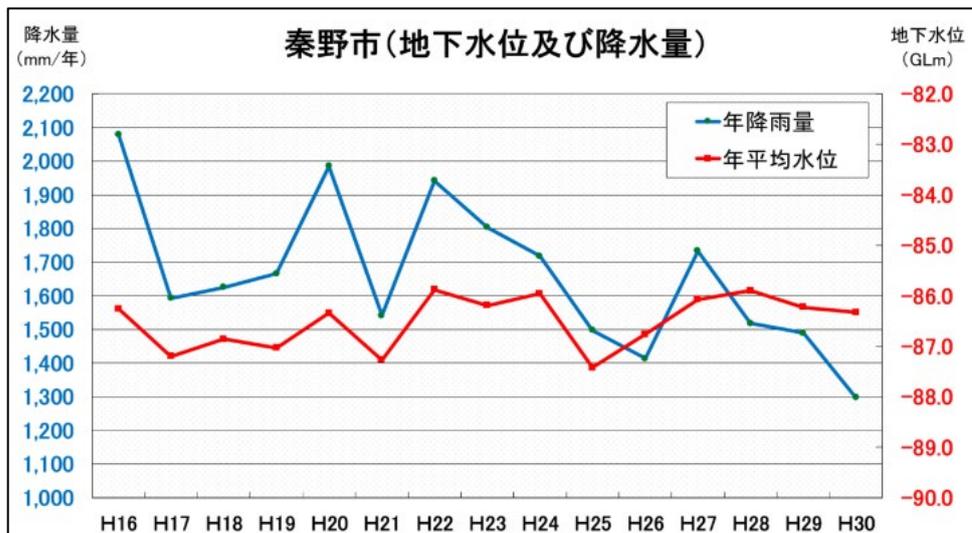
<地下水汚染対策のモニタリング>

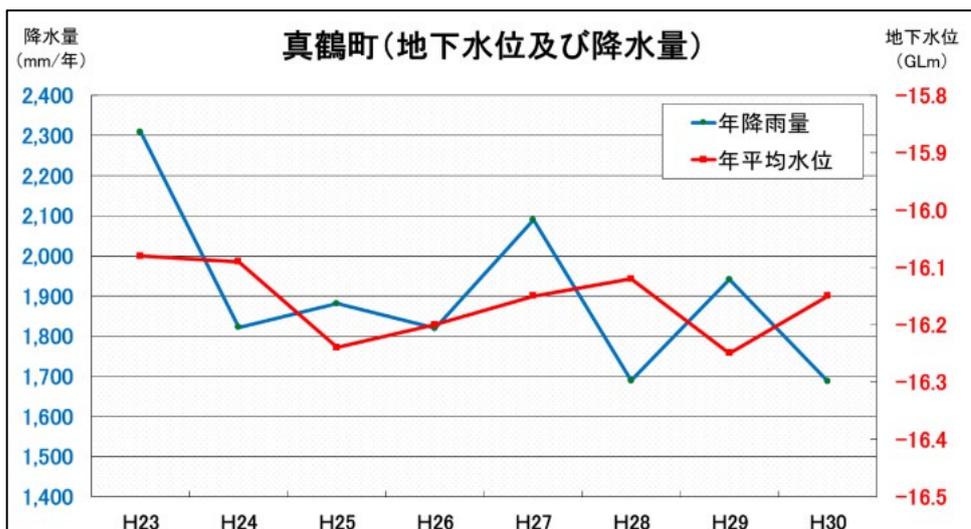
浄化装置の設置後、有機塩素系化学物質であるテトラクロロエチレンの濃度は減少している。

<地下水モニタリング（事業）>

- ・地下水位は、地下水利用に問題のない水位レベルを維持している。
- ・地下水質のモニタリングを行っているうち2市において、汚染が見つかった。

【地下水位】





【地下水質】

表 厳島湿生公園（中井町）における硝酸性窒素濃度の変化（mg/L）

	平成25年度						平成26年度						平成27年度						平成29年度	平成30年度
	7/31	8/27	9/23	11/25	1/30	3/4	7/30	8/28	9/29	11/28	1/29	3/2	7/31	8/31	9/28	11/27	1/28	3/1	12/4	8/2
St.1	9.1	8.4	9.2	9.0	10	9.9	9.2	9.6	9.5	9.8	10	9.7	9.5	9.2	9.8	9.8	10	9.6	9.8	8.6
St.2	11	11	11	10	11	11	9.5	10	9.6	9.9	12	11	10	10	10	10	11	11	9.6	9.8
St.3	6.2	3.6	6.9	7.4	7.3	6.5	4.5	5.9	5.2	7.0	9.3	7.4	5.5	6.4	6.2	7.5	7.9	7.6	7.4	5.2

環境基準 10mg/L

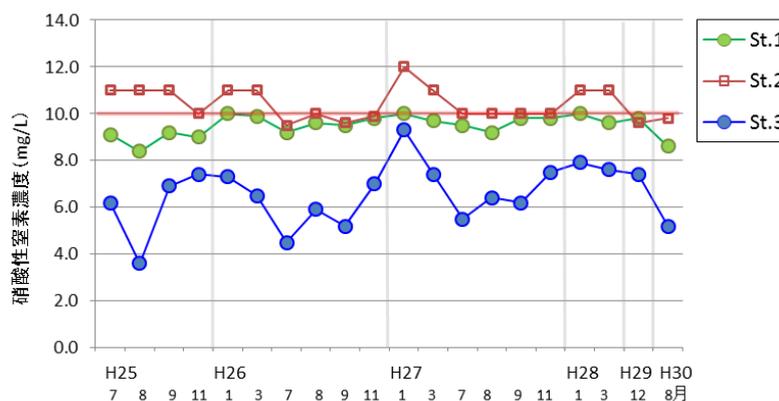


図 厳島湿生公園（中井町）における硝酸性窒素濃度の変化

県民フォーラム意見 報告書

(第39回～第42回)

平成31年3月

水源環境保全・再生かながわ県民会議

県民フォーラム意見について（第39回～第42回）

1 はじめに

「水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム」（以下「県民フォーラム」という。）は、水源環境保全・再生の取組について、県民の意見を幅広く収集するとともに、水源環境保全・再生に係る情報の提供・発信等を目的に「水源環境保全・再生かながわ県民会議」（以下「県民会議」という。）が開催するものである。

第38回県民フォーラムまでに収集した県民フォーラム意見については、これまでに取りまとめた上、県に対して報告を行い、県から報告に対する回答を受けている。

このたび、平成30年度に実施し、第42回県民フォーラム分までに収集した県民フォーラム意見について取りまとめたので、県に対して報告するものである。

なお、第28回県民フォーラムより、もり・みずカフェを単独開催ではなく、他団体が主催するイベントに出展し開催するなど、新たな開催手法も取り入れることで、効率的な県民意見の集約や情報発信に努めている。

2 県民フォーラム（第39回～第42回）の結果概要

第二十九回 (もり・みずカフェ)	日時	平成30年5月26日（土）10:30～17:00
	会場	横浜そごうB2階「新都市プラザ」（横浜市西区高島2-18-1） ※同日開催「かながわ家づくりフェア2018」で実施。
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子、西 寿子 森本 正信 コミュニケーションチーム 高橋 貴子、増田 清美
	参加者数	869名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の紹介、アンケートの実施（回答者へは記念品を贈呈） ・水源施策紹介パネル、剥製（シカ、イノシシ）の展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・カートカン（紙製飲料缶）、飲料水（ペットボトル）の配布（アンケート回答者のうち希望者） ・シールラリーの実施 ・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッチ等）の配布
第四十回 (もり・みず)	日時	平成30年8月5日（日）10:00～16:00
	会場	西武東戸塚店 オーロラモール館7階ファーストブリッジ （横浜市戸塚区品濃町537-1） ※同日開催「2018ECOフェア」で実施
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 小笠原 多加子、上宮田 幸恵、佐藤 恭平、豊田 直之

		西 寿子、森本 正信 コミュニケーションチーム 滝澤 洋子、増田 清美
	参加者数	230名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の紹介、アンケートの実施（回答者へは記念品を贈呈） ・水源施策紹介パネル、剥製（シカ、クマ）の展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等） ・カートカンの配布（アンケート回答者のうち希望者） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ（風船、うちわ等）の配布
第四十一回 (もり・みずカフェ)	日時	平成30年9月22日（土）10:00～17:00
	会場	川崎アゼリア サンライト広場（川崎市川崎区駅前本町26番地2） ※同日開催「かながわの水源地域キャンペーン」で実施
	出席者	県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 相川 健志、小笠原 多加子、上宮田 幸恵、倉橋 満知子 豊田 直之、西 寿子、森本 正信 コミュニケーションチーム 高橋 貴子、増田 清美
	参加者数	415名
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の紹介、アンケートの実施（回答者へは記念品を贈呈） ・水源施策紹介パネル、剥製（シカ）の展示 ・各種広報資料の配架（リーフレット「森は水のふるさと」、「支えよう！かながわの森と水」等） ・カートカンの配布（アンケート回答者のうち希望者） ・着ぐるみ「しずくちゃん」による演出 ・しずくちゃんグッズ（風船、缶バッジ等）の配布
第四十二回 (ワークショップ形式)	テーマ	かながわの森と水を守ろう
	日時	平成30年12月1日（土）10:30～16:00
	会場	厚木市立あつぎ市民交流プラザ（厚木市中町2丁目12-15）
	出席者	施策調査専門委員会 太田 隆之、大沼 あゆみ、岡田 久子、鈴木 雅一、土屋 俊幸 羽澄 俊裕、吉村 千洋 県民フォーラムチーム（コミュニケーションチーム兼所属者も含む） 倉橋 満知子、豊田 直之、小笠原 多加子、佐藤 恭平 西 寿子、上宮田 幸恵、森本 正信 コミュニケーションチーム 滝澤 洋子、増田 清美 上記以外 青砥 航次、服部 俊明
	参加者数	141名
	内容	【午前の部】10時30分～12時00分

《メイン会場》

- (1) 開会挨拶…県民会議 鈴木座長
- (2) これまでの取組について
水源環境保全課、自然環境保全センター、環境科学センターからの取組紹介
- (3) 有識者による評価発表
 - ・「神奈川県水源環境の取組の評価 ～経済評価の観点から～」
慶應義塾大学 教授 大沼 あゆみ
 - ・「森林・林業と市民参加の視点から：かながわ水源環境保全の取組の評価」
東京農工大学大学院 教授 土屋 俊幸
 - ・「水源環境と水道」
東京工業大学環境・社会理工学院 准教授 吉村 千洋

《子ども会場》

市民団体、県による体験教室や展示等

- ・ 水質実験教室：(特非)神奈川環境学習リーダー会
- ・ どんぐりを使ったおもちゃ作り：(特非)四季の森里山研究会
- ・ クリスマスリース作り、しめ縄作り、竹ぽっくり作り：(特非)四十八瀬川自然村
- ・ 紙芝居、クイズ：水源環境保全課
- ・ かながわ県産木材つみき：森林再生課
- ・ 生き物展示：環境科学センター

【午後の部】 13時00分～16時00分

- (1) 討議の趣旨・論点説明
 - (2) 討議（分科会（4グループ）、移動・休憩を含む）
A～Dの4グループ（1グループ23名）に分かれ、テーマ「これまでの取組、これからの方向性や将来像」について討議した。
 - (3) 各グループ発表・質疑・意見集約
分科会の各グループリーダーから討議概要を発表、発表内容に関する質疑及び意見交換、全体での意見集約を行った。
- ・ その他：もり・みず市民事業支援補助金申請相談コーナーの実施
本会場後方を利用し、補助団体活動紹介パネルの展示・施策紹介パネルの展示・各種広報資料の配架を実施

3 県民フォーラム意見

第39回～第42回県民フォーラムにおけるアンケート集計結果及び個々の意見内容は、別紙のとおりである。

4 県民フォーラム意見の傾向について（第39回～第42回）

県民フォーラムで寄せられた意見について、「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「県外対策」、「水源地域の活性化等」、「その他」の7項目により分類した。結果は下記表のとおりである。

水源環境保全・再生施策についての「森林整備」、「水源環境への負荷軽減」、「情報提供・普及啓発」、「市民活動支援」、「水源地域の活性化」に関する意見が寄せられた。主な意見としては、「森と水の大切さがわかりました」「取組を若い世代にもっと広めて欲しい」等が寄せられた。なお、「その他」の項目には県民フォーラムの感想や運営に関する意見等を分類した。

第39回～第42回県民フォーラム 項目別意見件数

項目		意見件数				
		第39回	第40回	第41回	第42回	計
1	森林整備	3件	0件	1件	4件	8件
2	水源環境への負荷軽減	3件	0件	1件	1件	5件
3	情報提供・普及啓発	6件	6件	6件	1件	19件
4	市民活動支援	0件	0件	0件	1件	1件
5	県外対策	0件	0件	0件	0件	0件
6	水源地域の活性化等	0件	0件	0件	3件	3件
7	その他	146件	36件	53件	14件	249件
計		158件	42件	61件	24件	285件

第39回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	森林整備	山の手入れが大変でコストが掛からないようにすべきです。税金が掛からないようにして下さい。
2		植林を永続して行う
3		山林の保全を永久に守って貰いたい
4	の水 負源 荷環 境 軽境 減へ	きれいな水の保持に協力すべき。
5		個人レベルでも生活排水をきれいに心掛けます。
6		水は大事なものであるため今後とも環境保全と再生に尽力して欲しいです
7	情報 提供 ・ 普 及 啓 発	水が資源であることを、もっとPRすべき。特に子供達に教える方法が必要。
8		大切な水を守るため、子供へのアプローチをお願いします。
9		取組を広く知られる為にたくさん活動をお願いします
10		子供の教育に自然教室として取り入れるのも良いのではと思いました
11		税金を支払うだけでなく、こういうイベントで説明していただける場があるのは良いと思った。
12		活動についてよく知られていないのでもっとアピールした方が良いと思います
13	その 他	花粉でない杉の開発はおどろいた！今の子供たちが大人になる頃、杉アレルギーがなくなると良いですね。
14		山を切り下し家が建っているが、それだけのお金を集めている価値があるか、役立てられているか？
15		山の手入れは大切。神奈川は昔からおいしい水なので大切に使いたい
16		木材の家はとても良いですね
17		森林が荒れているニュースを目にしていることがあり、美しい森林がある日本であって欲しい
18		水は人間が生きていく上でとても大切なものです。自然環境を大切に、良い水を作っていきたい！
19		水や資源を大切にしようと思った。
20		水は大切にしたい。
21		良質の水を供給して下さっている方々に感謝。
22		安全な水資源は、生活していくうえで大切だと思う。
23		生活に必要な不可欠なお水なので、無関心ではられない。
24		横浜の水は安全・安心と多くの方が言うのを耳にします。これからも安全で安心なお水が横浜市民のもとにとどくよう、お願いいたします。(ぜひ国民が森や川をきれいに保とう！と思えるような働きかけもお願いします。)
25		孫達と夏休等でキャンプによく行く。横浜市の水は特においしいと言われているので、あまり汚くならない様に皆で気を付けようと思う。
26		これからも、きれいな水を使いたい。
27		水源(水)の無駄をなくす努力をしよう！
28		人間は水なしでは生きていけません。水は大切ですね！
29		水は大切にしたいと思う。
30		良い水をいつまでも保ってほしい

番号	項目	記載内容
31	その他	今回初めて「水」について知識を得る事が出来ました
32		恩田川の近くに住んでいます。もっときれいになって欲しいと思います
33		横浜は水がきれいな所だと思い住んでいます。以前住んでいた東京の水はニオイがありました
34		水は大切なので守って欲しい
35		排水浄化も大切に
36		税金が掛かるなら、今のままでいいかな？と思う。日本は特に水が不足しているわけではない。
37		一般財源で対応できるようにできたら、安定した活動につながると思う。
38		義務にしないと、任意で協力できる人が少ない。
39		森林整備に大事に使って欲しい。
40		このことに取り組み頑張っている人のことを思い、水資源のことを考え、水を大切に使いたい。
41		いまのままで、ひきつづきやったほうがよい。
42		今後も継続して行ってほしい。
43		環境保全に関しては土地管理含め、しっかりお願いしたい。
44		出来ることなら協力していきたい。環境保全は大切な事だと思う。
45		これからは自然災害が多くなると思うので、しっかり取り組んで貰いたい。
46		神奈川県は全般に水不足の心配はないが、より県民が安心して生活できる仕組みを構築して下さい。
47		税金を払っていたのを知らなかったので、知ってよかった。
48		自然が守れるなら、税金を払ってきれいな空気や、きれいな水を飲めるように、もっと協力したいと思った。
49		有効利用して、将来の子孫にも安心して飲める恵の水が湧き、守られますよう。
50		税金を余計に払っているの知らなかった。きちんと使用していただけるなら、必要な税金と思う。
51		大切なお水です。安心安全のため続けていく事。
52		水は大切なので税金がかかってもしょうがないと思う。
53		水源地の保全、下草刈など、やって頂きたい。
54		水源環境保全税は大切な取組だと思います。漠然に思っていました。もっと知識を持って考えたいと思いました
55		引き続けて欲しい
56		ぜひ続けて行って欲しい
57		自治体だけでなく、県民が一緒になって取組む事が必要だと思う
58		税を有効に使って欲しい
59		これからもっと推進させてください
60		良い取り組み
61		神奈川県は、豊富な水源があるので、今後とも環境保全・再生に役立てて欲しいと思います
62		森がきれいになるなら仕方ない
63		取組は大事な事だと思います
64		どこで税は取られているのか 水道代に入っているのか

番号	項目	記載内容
65	その他	個人県民税の超過課税が分かりづらい
66		良い取り組みだと思います
67		特別な税を使っていてビックリした
68		もう少し水源を大事にする取組が広がれば良いと思います
69		税金を有意義に使って水を守って頂けたらと思います
70		税金を増やして行くかは別として、水資源の保全・再生については拡大すべきだと思います
71		これからも豊かな水源を守るために続けて欲しい
72		水質を保つために、環境を整備しなければ森が守れないので
73		保全・再生の取組を今後もお願いします
74		環境保全再生の取組は大変。とても良いと思います
75		おいしい水があることを、まずは県民がわかること。
76		有限の資源である認識を高めていく必要がある。
77		参加出来るイベントはありませんか
78		自然に添って良い企画と思える。実行して行って欲しい。
79		チップいただいて家に帰って活用したい。
80		現状と今後の課題について知ることができた。
81		説明頂き大変良くわかりました。
82		環境保全と水の関係をよく理解できました。
83		機会がある事？に取組に参加したい。寄付箱の設置
84		水道との関係を明確にして、理解を求めべき。下水道対策も
85		面白い企画でした。少し興味が湧きました
86		この様なイベントをまたやって欲しい
87		将来に向けて継続した取組に賛同です。ポスターが小さいです。もっと大きい方が見やすい
88		もっと説明を。PRをして理解度を高める事が大切です
89		勉強になりました。ありがとうございました。
90		大切にしないといけないと思う。
91		水源は守られるべきものとする。
92		大切なお話、ありがとうございました。
93		今後も期待しています。
94		いつもありがとうございます。
95		北海道が外国人に土地を取得されている。そのようなことにならないように、しっかり取り組んでください。
96		知らないことがたくさんあってビックリした。
97		水源環境は守っていかなければと思った。
98	とても参考になりました。	
99	水や森のことを知れた。	

番号	項目	記載内容
100		ボランティアをしたいけど、体が自由にならないので。
101		県民全体で、もっと意識を高めるべき。
102		命です。
103		いつまでも、おいしい水が飲めるように対策が必要だと分った。
104		大切なことだと思う。
105		がんばって下さい。
106		緑化へ!!廃棄物減少 見直し徹底
107		いつまでも大切な水をいただける様に、少しでも守っていききたい。
108		水源環境保全を守っていく
109		ゴミを捨てないように
110		神奈川の水は大変おいしい。
111		おいしい水を維持して下さい。
112		夏など、ダムのおかげなのか、水不足にならず助かります。
113		自然を大切にするのは、いいことだと思う。
114		アウトドアが趣味なので、キレイな水は大切にしたい。
115		水資源の大切さを知る。節水に努める。
116		水源地は大切にしていきたい。
117	その他	限られた資源を有効に活用しないと、と感じた。
118		山梨の水の源を今に先人に感謝
119		水源の大切さを初めて知りました
120		安全な水源が必要
121		周知活動をもっと期待します
122		もっと良く知りたいと思いました
123		子供の世代が大きくなった時に困らないような環境を作っていかなければならない
124		小・中学校の授業で取り上げられているのか？子供の時から教育の一環で伝えて頂ければ良い
125		もっと勉強したいです
126		勉強になりました
127		私も勉強していきたいと思いました
128		水源保全や再生は大切だと思います
129		理解するようがんばります
130		都市人口が増えるので大切だと思う
131		体の安心の為
132		知らない事ばかりでした
133		大事な事と思います
134		森を守ることの大切さを感じました
135	環境保全の大切さを子供達にも教えていきたい	

番号	項目	記載内容
136	その他	今まで知らずに過ごしてきたので、少しためになりました
137		山梨県は水源地が多いのですが、中国人の見学者が多いです。土地の買収とか心配しています
138		自然を守りたいという県民を増やせればと思います
139		ためになった
140		神奈川県を自然を保全するべきだと思いました
141		きれいな森と水を作ってくださいと感動しています。応援しています。
142		イノシシ、シカを有効に利用したい
143		自然を守る
144		是非水源の保全をやって貰いたい
145		きれいな美味しい水をこれからも提供して欲しい
146		家庭から節水をしたい
147		お金を取るのを知らなかった
148		もっと力を入れて欲しい
149		シカの処遇は、生かしたまま捕獲し、動物園に寄贈するのも一手段かと思います
150		勉強になった
151		環境汚染対策をやってください。山梨県も水を大切にしていると感じた(北杜市など)
152		水道水が美味しくなって欲しい
153		これからはしっかりとした取組をお願いしたい
154		啓発活動は大切だと思います。頑張ってください
155		自分たちの出来る事から取り組んで行きたいと思います
156	水が一番大切	
157	子供達にはきれいなままの地球を残してあげたい	
158	山を守れば水源がきれいになると思います	

第40回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	情報提供・普及啓発	市民に対する水源ツアーの回数を増やして欲しい。
2		横浜市内の小学校全域で、より積極的な働きかけにより、環境教育をしていただきたい。
3		啓蒙活動について、さらに進めるべきだと思う。
4		税のことをもっと周知させると、水について関心が深まると思う。
5		使用目的を、もっと宣伝すべき。
6		何を行っているのか、全く知られていないと感じる。
7	その他	一人一人が水を大切に、生活していけたらいいなと思います。
8		水を大切にしたいです。
9		水を大切にします！
10		水を大切にします。
11		水は大事に使います。
12		横浜の水は、おいしいです。
13		これからも水を大切にします。
14		はじめて水のことが知れてよかった。
15		水がもっと豊かになって欲しいです。
16		神奈川県は、水不足になる心配が少なくて良い。
17		水を再生することは、とても大切だと思います。
18		水不足にならない神奈川は、素晴らしいと思う。
19		毎日、美味しくてたまらない水が飲みたいからです。
20		日常生活に欠かせない水の大切さを改めて知りました。
21		子どもが生まれて、より、水はキレイな方が良いと思いました。
22		水は大切だから、これからも環境のために、していきたいと思いました。
23		もっと水のことを詳しく知りたいです
24		神奈川は昔から計画的にダム管理が出来ていて、水不足になることなく助かっています。今後も計画的な対応をお願いします。
25		平等でない。
26		素晴らしい取組だと思います。
27		税金の無駄遣いをして欲しくない。
28		活動を応援しています。頑張ってください！
29		横浜市のみどり税と国の新税を含め、統合した税体系とすべきと考える。
30		これからパンフレットで理解したい。
31	はじめて知ったことが多かったのでよかった。	

番号	項目	記載内容
32	その他	環境をよくするために努力し、呼びかけていていいと思います。この先水がキレイでいてほしいです。
33		森は、動物はもちろん、人間にとっても必要不可欠な財産なので、このような活動は大いにしていきたいと思います。
34		知らなかったので、役に立ちました。
35		勉強になりました。
36		もう少し詳しく知りたいです。
37		もっと多くの人に知って欲しい。
38		いつも感謝しています。
39		しずくちゃんが、だいすき
40		自然が豊かになって欲しい。
41		鹿の肉を売ればいい。鹿なべを。
42		しずくちゃんが可愛かったです。

第41回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム(もり・みずカフェ)意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	整備 森林	森の間伐ももっと進める必要がある
2	の水源 負荷環境 軽減へ	水が汚れるのは、あつという間だが、きれいに保つことは努力も必要。自然から得られるものではあるが、この自然を守る努力が必要と理解している
3	情報 提供 ・ 普及 啓発	環境教育との連携を充実させてほしい
4		川崎市と山北町交流事業に参加しました。子供が森づくりを手伝い、楽しく学びの時間となりました。有料でも良いのでツアーをたくさんして欲しい
5		今後も若い方達に伝えて下さい
6		いつも使う水のことですが、あまり知らないなあと思いました。もっと知る機会があれば良いかと思いました
7		取組を若い世代にもっと広めて欲しい
8		水源環境税の使い道を知りたい
9		森林は大切です
10		植林も大切ですね
11	その 他	私有林が火事になった場合、誰に責任が及ぶのか
12		森と水の大切さがわかりました
13		どの様にしてあのきれいな水になって来るのかと言う事をもう一度確認し、自然の資源も大切にしなければなりません。森林もその大事な役目なのです
14		神奈川県に大雨洪水注意報を良く聞きます。雨水を利用できたらと思います
15		清水の湧き水を利用しましょう
16		水道水は安全第一と思います
17		川崎市の水をもっと美味しく
18		水は大切な飲み物なので、安心した水を飲める環境を大切にしたい
19		水は資源の中でも最も大切。妻は台湾出身ですが水は買うものです。きれいな水と環境を今後も残したいです
20		神奈川県は他県に比べて水源・ダムが豊かだと思います。これを維持してください
21		これからもおいしい水を提供する為によろしくお願いします
22		税金の使い道を明確にして欲しい
23		他県よりも進んで取組をしていると伺いました水源がきれいなまま保たれるよう私達市民も協力していきたいです
24		無くなった後に、源流地域が地獄を見るようなことがないように、お願いします。山は資源や利用するものではなく、敬意を払い尊重すべきものです
25		20年間の大綱を延長すべきである
26		県と国の税のマッチング
27		H38年以降の考え方
28		誰が何を求めているか調査してください
29		知らなかった事が多くて勉強になりました

番号	項目	記載内容
30		水の大切さを、これからも伝えていって下さい。企業が買い占めることが無いように
31		色々知ることが出来て良かった
32		興味がわきました
33		他人事だと思わずにいたいと思う
34		しっかり仕事をしてください
35		いいと思う
36		命を守るためによろしくお願いします
37		「ブラタモリ」とかで水の事などを少し学びました
38		面白い！水源について興味がわいた
39		川の元が富士山とは知らなかった
40		富士山の水を飲んでいる事に驚いた
41		どこから来ている水なのか知りませんでした
42		水源は多摩川だと思っていた
43		いがいに水が豊かだと言う事が分かりました
44		自然と水をもっと大切にしていきたいと思いました
45	その他	県外から来ている水を使わせて頂いて大変うれしいです
46		水不足の時に「丹沢水系かな」というのは気にしていましたが、勉強になりました
47		水の大切さを知った。税金の使い道が大事
48		スタッフのみなさんが親切で良かった
49		非常に良かった。良く理解する事が出来ました
50		分かりやすくおもしろかった
51		意外と難しかった
52		私は6年生で、4年生の勉強は忘れちゃったけど、いろいろなことを思い出して面白かったです。でも、ほとんど分らなかったです。
53		色々知らなかった事を教えて頂きました
54		説明で良く分かりました
55		とても参考になりました
56		全然知らなかったなので、勉強になった
57		これからはこの事について興味と関心を持つことにします
58		半年位前にパンフレットを見た
59		Good !
60		覚えました
61		知らなかった、間違った事を覚えていた

第42回水源環境保全・再生かながわ県民フォーラム意見集約表(意見・感想記入欄に記載された意見等)

番号	項目	記載内容
1	森林整備	森林の公的管理終了後の対策の効果維持の方策が必要で、その為には、行ってきた対策の効果検証が欠かせないと思う
2		国の森林環境税導入に伴う、森林関係諸事業との整備等に係る費用の分担を効果的に行って頂きたい
3		荒廃した森林を健全な状態にするには、50年、100年と長い期間が掛かると聞きました。水源環境保全税は20年間とお話ですが、税終了後も森林整備は必要だと思います。お金が無くて、森林が荒れていく事が無い様、水源環境保全税の期間を延長し、神奈川の水源を守って行く事が大切だと感じました
4		人工林の手入れはエンドレス。更なる保全・再生活動の必要性を改めて感じました
5	水源環境への負荷軽減	河川に関係する事業について、広範囲な取組を検討して欲しい。相模川水系河川整備計画が策定された。今後の取組を整備計画と一体化した内容になると良い
6	情報提供・普及啓発	もっと県民に重要性をPRする。一般的に水の有難さを認識しないで生活している人が多いと考える。水資源に富まれている神奈川であり、その環境・保全に更なる対策を積極的に進めて欲しい
7	市民生活支援活動	森林整備に関して、ボランティアで参加していますが、交通費も出ない状態です。手弁当はOKとしても、せめて現地までの交通費は出ないものか…このままでは先細りになります
8	水源地域の活性化	支援は経済合理的でなければならない。林業が成立するような施策が必要
9		人材育成(待遇改善)
10		神奈川県として林業に携わる方の将来像をどうするか。現状は水源環境税に頼っている所が大きい(将来共に継続的な支援(森林の維持整備)をする方法等)
11	その他	国が実施する森林環境税が始まるが、水源環境保全税との関係について➡自治体配布になっているが、県全体への影響はどの程度か
12		参加した討議グループの中で、20年を限度としている事に対して、永続的な取組を求める意見と、経済の(林業としての経済的要素も含めた)循環を求める意見が印象に残っています。意識が高い人の集まりだと思いますが、そうでない人の意見も聞く機会があればと思いました
13		本計画時点で丹沢の山は、どの様な森林にするかという理想像が議論されたのでしょうか。成り行き任せという一面があるようです。自然を相手に想定外の環境変動が考えられる昨今という条件下で考え抜く事は難問題である。100年、1,000年先の丹沢の理想像を作ってから計画を作るべきであろう
14		水源環境の保全に今、取り組んでいる事を我々の団体の中で、いかに継続されるか、後に続く者を育てていくかが重要であるかを学びました。団体の中で議論をしたいと思えます。ありがとうございました
15		県と横浜市、川崎市との調和・調整等が必要(ムダな金/作業)事業のダブリングのムダ、目的の相違はないか?
16		河川の中流域への整備
17		水の事に興味がない人でも身近に感じられ、参加できるようなイベントになると県民の意識が向くと思えました
18		金目川水系の里川づくりへの評価はいかん!
19		各発表者の内容は非常に興味深いもので、もっと深い長い話として聞いていたかった。それぞれの時間が短かった為か中身が上滑りしているようで、内容の理解がいまいちだった。一生懸命聞いていたが、話がどんどん通り過ぎて行って、理解が深まらなかった。もう少し時間に余裕を持って「参加者が良かった」と思えるように時間割を考えてください
20		子ども会場について、森林に関心を持つ人達の層を将来的に広げていける可能性がある。発表者の時間管理をしっかりとコントロールしていた点がとても良かった
21	室内の空調が弱く寒かった	

番号	項目	記載内容
22		時間が足りなかったと思います。お疲れ様でした
23	その他	開催についての周知をもう少し広げ、一般市民に知らせる対策の必要性.子ども会場の催事内容が、良かったと感じた。例えば室内ではなく、オープンな広場で気軽に参加出来るような方策について検討する方が良いと思います
24		配布資料も良くて、来ていて大変参考になる

平成30年度 市町村別事業実績一覧(市町村事業)

(単位:千円)

区分	事業費				
		5. 地域水源林(ha)	6. 河川・水路	7. 地下水保全	8. 生排処理施設
小田原市	141,098	私有林確保 36.81 私有林整備 24.17 市町村有林整備 0.51 88,300	効果検証 事前調査 工事(新規) 1箇所 51,600	-	個人設置型浄化槽 2基 1,198
相模原市	591,553	私有林確保 - 私有林整備 4.03 市町村有林整備 6.23 14,800	効果検証 事前調査 工事(新規) 1箇所(注) 工事(継続) 1箇所 5,100		市町村設置型浄化槽 119基 個人設置型浄化槽 3基 下水道整備 18ha 571,653
秦野市	194,870	私有林確保 41.02 私有林整備 69.42 市町村有林整備 6.48 114,700		地下水汚染対策 地下水かん養対策 地下水モニタリング 79,200	個人設置型浄化槽 2基 970
厚木市	85,397	私有林確保 7.44 私有林整備 2.35 市町村有林整備 - 14,900	効果検証 事前調査 昨日保全 31,100		個人設置型浄化槽 60基 39,397
伊勢原市	10,429	私有林確保 4.28 私有林整備 4.28 市町村有林整備 2.10 9,500	効果検証 300		個人設置型浄化槽 1基 629
海老名市	-	-	-		-
座間市	9,600	-	-	地下水かん養対策 地下水モニタリング 9,600	-
南足柄市	115,245	私有林確保 - 私有林整備 23.91 市町村有林整備 0.52 24,500	効果検証 工事(継続) 1箇所 88,000	地下水モニタリング 800	個人設置型浄化槽 3基 1,945
寒川町	-	-	-		-
中井町	30,000	私有林確保 3.88 私有林整備 8.84 市町村有林整備 - 28,700		地下水モニタリング 1,300	
大井町	7,900	私有林確保 4.15 私有林整備 - 市町村有林整備 - 7,200		地下水モニタリング 700	-
松田町	16,000	私有林確保 - 私有林整備 1.20 市町村有林整備 7.76 13,400	効果検証 1,800	地下水モニタリング 800	-
山北町	15,000	私有林確保 - 私有林整備 3.78 市町村有林整備 4.00 11,900	効果検証 2,100	地下水モニタリング 1,000	-
開成町	700	-	-	地下水モニタリング 700	-
箱根町	111,000	私有林確保 24.22 私有林整備 25.51 市町村有林整備 57.06 96,800		地下水モニタリング 14,200	
真鶴町	6,500	私有林確保 - 私有林整備 - 市町村有林整備 1.09 600		地下水モニタリング 5,900	
湯河原町	48,200	私有林確保 7.27 私有林整備 13.15 市町村有林整備 6.10 48,200			-
愛川町	49,000	私有林確保 29.42 私有林整備 24.34 市町村有林整備 3.22 49,000			-
清川村	77,600	私有林確保 30.51 私有林整備 47.24 市町村有林整備 - 77,600			-
合計	1,510,092	私有林確保 189 私有林整備 252 市町村有林整備 95 600,100	河川水路整備 4箇所 (注)H29年度からの明許繰越 180,000	地下水かん養対策 地下水汚染対策 地下水モニタリング 114,200	市町村設置型浄化槽 119基 個人設置型浄化槽 71基 下水道整備 18ha 615,792
		対象 18 市町村 実施 15 市町村	対象 19 市町村 実施 7市町	対象 15 市町村 実施 10市町	対象 15 市町村 実施 6市町

※1 □の部分で金額等の記載のない箇所は、特別対策事業の対象となっているが、事業を行っていないもの

※2 ■の部分には、特別対策事業の対象となっていない市町村

※3 表中の事業内容については、主な事業について記載

Translate 読み上げ / 画面が読み上げ ご利用案内

神奈川県

ホーム > くらし・安全・環境 > 生涯と自然環境の保全と改善 > 関係機関・生涯環境の保全 > かながわの水源地環境の保全・再生をめざして > 水源地環境保全・再生かながわ県民会議第6期委員名簿

印刷用ページを表示 掲載日：2019年6月21日

水源地環境保全・再生かながわ県民会議第6期委員名簿

水源地環境保全・再生かながわ県民会議第6期委員名簿
任期：平成31年4月1日から令和4年3月31日

(有識者及び関係団体は区分ごとに50首領、公募は地域ごとの50首領)

	氏名	役職等
有識者	石本 健二	神奈川新聞社 総合編集局次長兼編集総務部長兼紙面研究室長
	太田 隆之	静岡大学人文社会科学部 准教授
	大沼 あゆみ	慶應義塾大学経済学部 教授
	岡田 久子	明治大学農学部 講師
	鈴木 雅一	東京大学 名誉教授
	谷本 有美子	公益社団法人神奈川県地方自治研究センター 研究員
	土屋 俊幸	東京農工大学大学院農学研究院 教授
	羽澄 俊裕	元東京農工大学 特任教授
	吉村 千洋	東京工業大学環境・社会理工学院 准教授
	青砥 航次	特定非営利活動法人神奈川県自然保護協会 副理事長
関係団体	福田 敏明 (※)	神奈川県森林組合連合会 代表理事専務
	倉橋 満知子	桂川・相模川流域協議会 代表幹事
	増田 清美	神奈川県政モニターOB会 副会長
	矢内 耕二	酒匂川水系保全協議会 副会長
公募	久保田 修映	横浜・川崎地域
	時田 愉季子	
	豊田 直之	
	宮下 修一	相模原地域
	根岸 朋子	
	上田 啓二	県央・湘南地域
	小笠原 多加子	
	原田 武司	
	星野 澄佳	
上岩田 幸恵	県西地域	

※令和元年6月12日就任

[このページの先頭へもどる](#)

関連情報

[水源地環境保全・再生かながわ県民会議 >](#)

[水源地環境保全視による特別対策事業の点検結果報告書 >](#)

[このページの先頭へ戻る](#)

いいね! 0 ツイート

このページに関するお問い合わせ先

環境農政局 緑政部水源地環境保全課
環境農政局緑政部水源地環境保全課へのお問い合わせフォーム

このページの所管所属は環境農政局 緑政部水源地環境保全課です。

県の重点施策

ME-BYO 未病の改善

ヘルスケア・ニューフロンティア

PROBIO・TECHNO・BIOCOM
さがみロボット産業特区
SPECIAL PRODUCTION

スマート地域活性化プロジェクト

かながわスマートエネルギー計画
KANAGAWA SMART ENERGY PLAN

東京2020
オリンピック・パラリンピック競技大会

MAGCUL マガカル
MAGNET CULTURE PROJECT KANAGAWA

とびまも

SDGs 未来都市 神奈川県
SDGs Future City Kanagawa

総合的な評価（中間評価）報告書

水源環境保全税を活用した「かながわ水源地環境保全・再生実行5か年計画」は、第2期計画が満了となる平成28年度に10年の節目を迎えることとなります。

施策の点検・評価の役割を担う水源地環境保全・再生かながわ県民会議では、これまでの成果と課題を一旦総括し、次の10年の取組に繋げるため、平成27年8月に施策の総合的な評価（中間評価）報告書を取りまとめました。

評価結果の全体総括

「施策全体の最終的アウトカムは、評価の時間軸を10年から20年とする長期的評価であることから、現時点での評価は暫定的なものです。これまでのところ、水源保全地域において水循環機能の保全・再生が図られていく過程にあると考えられます。」（第2部III（ローマ数字の3）1「評価結果の全体総括」より抜粋）

[このページの先頭へ戻る](#)

総合的な評価（中間評価）報告書

表紙・目次・はじめに[PDFファイル/177KB]

第1部 かながわの水源地

I（ローマ数字の1） [かながわの水源地の今](#)[PDFファイル/6.77MB]

II（ローマ数字の2） [神奈川県の水源地環境とその課題](#)[PDFファイル/98KB]

第2部 水源環境保全税の導入と施策展開

I（ローマ数字の1） [水源環境保全税の導入と施策展開](#)[PDFファイル/3.05MB]

II（ローマ数字の2） [施策の評価方法](#)[PDFファイル/472KB]

III（ローマ数字の3） 評価結果

1 [評価結果の全体総括](#)[PDFファイル/5.29MB]

2 [各事業の量的指標（アウトプット）、質的指標（1次的アウトカム）による評価総括](#)[PDFファイル/1.33MB]

[事業評価シート（1から5）](#)[PDFファイル/5.26MB]

[事業評価シート（6から12）](#)[PDFファイル/5.96MB]

3 [各事業の統合的資料（2次的アウトカム）による評価](#)[PDFファイル/2.68MB]

4 [水源保全地域の経済的価値の評価（水源環境保全・再生施策の経済評価）](#)[PDFファイル/477KB]

5 [施策全体の目的（最終アウトカム）による評価](#)[PDFファイル/186KB]

第3部 [今後に向けて](#)[PDFファイル/411KB]

[このページの先頭へ戻る](#)

かながわ水源地環境保全・再生 これまでの取組み



第25回県民フォーラム（平成27年7月26日）で配布した水源地環境保全・再生施策の評価資料です。

1. [かながわ水源地環境保全・再生（表紙から16ページ）](#)（PDF：9,177KB）
2. [かながわ水源地環境保全・再生（17ページから32ページ）](#)（PDF：9,992KB）
3. [かながわ水源地環境保全・再生（33ページから47ページ）](#)（PDF：9,983KB）

[このページの先頭へもどる](#)

[いいね](#) [ツイート](#)

このページに関するお問い合わせ先

環境農政局 緑政部水源地環境保全課

[環境農政局緑政部水源地環境保全課へのお問い合わせフォーム](#)

このページの所管所属は環境農政局 緑政部水源地環境保全課です。



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない方は、[バナーのリンク先から無料ダウンロード](#)してください。

県の重点施策

[ヘルスケア・ニューフロンティア](#)
HEALTHCARE NEW FRONTIER

[ME-BYO 未病の改善](#)

[ROBOT TOWN SAGAMI](#)
さがみロボット産業特区
@ROZUKA PRODUCTIONS

[県西地域活性化プロジェクト](#)

[かながわスマートエネルギー計画](#)
KANAGAWA SMART ENERGY

[東京2020](#)
オリンピック・パラリンピック競技大会

[ラグビーワールドカップ2019™](#)

[MAGCUL マグカル](#)
MAGNET CULTURE PROJECT KANAGAWA

[とほろとほろ](#)